

平成28年度 部局長マネジメント方針

教育総務部長 た田 むら村 あつ敦 し司



仕事に対する基本姿勢

このたびの人事異動で東大阪市の理事を拝命し、初めての教育委員会で教育総務部長の職務に就きました。市の理事としての責任の重さとともに、新たな職場の緊張感を感じながら自らの役割を果たしていきたいと思っています。私は仕事を進めるために、これまでから「現場」「情勢（情報）」「ミーティング」の3つのキーワードを大切にしています。

一つ目は「現場主義」をモットーにこれまでからどこの部署でも取り組んできました。それは当たり前のことですが、まずは現場で何が起きている、何が課題となっているのか、またそこには経過や背景があるのかを把握しないと何もできないからです。

二つ目に重要なことは、公の役割は時代の移り変わりとともにその内容も変わっていくため、大きな話を言えば世界の流れ、そのもとでの国の動きを常につかむことに努力することです。

三つ目のミーティングは、現場の課題、国の動向や情報を組織（チーム）として共有化することです。時間に追われ忙しい職場であればあるほど、早朝、夜間にたとえ30分でも時間を設け、情報の共有化と市としての方向性、的確な判断を行うための議論を徹底することだと思っています。

職場のマネジメントとすれば、当り前の話かもしれませんが、なかなか難しいのも事実です。難しいけれどそこを乗り越えていかないと組織（チーム）の力はつかないと思っていますし、今後も市民サービスの向上に向け、組織（チーム）を高めていきたいと思っています。

これからも3つのキーワードを大切にしながら、子どもたちの健やかな成長に向け、安全で良好な教育環境の整備や食に対する喜びが感じられる給食の提供に努めてまいります。

平成27年度の振り返り

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成27年度より設置された総合教育会議は、年度中に6回開催され、10月の総合教育会議において「教育行政に関する大綱」が策定されました。公立学校施設の耐震化は、小学校24校、中学校12校の耐震化が必要な校舎の耐震工事が完了し、これにより小中学校施設の耐震化率は100%となりました。

また、災害時には地域の避難所にもなる学校体育館の利用者の安全を確保するため、非構造部材（サッシなど）の耐震化を計画に進めました。

学校トイレの洋式化事業については、小学校 12 校、中学校 8 校の学校トイレのリフレッシュ整備（和式便所の洋式化・トイレ施設全体の乾燥化等）を実施しました。

普通教室の暑さ対策では、市立小学校における普通教室の熱中症対策として、小学校15校の普通教室（274室）にドライ型ミストを設置しました。また中学校では、校舎の耐震工事に併せて12校の老朽化したエアコンを更新しました。

平成 28 年 4 月の電力市場の完全自由化も見据え、学校園施設のランニングコストを節約するため、小学校 10 校（27 年 4 月施行）、中学校 25 校（27 年 10 月施行）において競争入札による電力供給を導入し、電気使用料の削減に努めました。

学校給食課については、食育の観点から「地産地消」に取り組み、東大阪市内産及び大阪府内産の野菜や米を各小学校で年 1 回以上使用し、大阪府内産農作物の使用推進に努めました。子どもたちには、「地産地消だより」などにより、身近で作られた農作物の栽培の様子や生産者の方々を紹介し、食物の大切さをより身近に感じられるよう努めました。また、小学校全校で使用する箸を、耐久性に優れ、安全かつ衛生的なアミハード製（樹脂製）の箸に変更しました。

平成 28 年度に取り組む重点課題

1 総合教育会議

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、平成 27 年度から新たに市長と教育委員会で構成される総合教育会議が設置されました。この会議を通じて市長と教育委員会の連携を活発化させ、より一層民意を反映した総合的な教育行政の推進を図ることができるよう、円滑な会議の運営に協力していきます。

なお、この会議で協議し策定した大綱のもと、「東大阪市教育施策アクションプラン」が平成28年3月に策定され、今後具体の施策として推進してまいります。

2 公立学校施設の耐震化

災害時には地域の避難所にもなる学校体育館の利用者の安全を確保するため、非構造部材（サッシなど）の耐震化を計画的に図っていきます。また、市立日新高校において耐震化が必要な校舎の工事を進めるとともに、「公立の就学前教育・保育施設再編整備計画（平成 27 年 5 月）」において引き続き市立幼稚園として運営される 4 幼稚園の園舎耐震化に取り組めます。

3 学校トイレの洋式化

平成25年度よりスタートさせた学校トイレの洋式化事業について、平成28年度は、計画最終年度として19小中学校の学校トイレのリフレッシュ整備（和式便器の洋式化・トイレ施設全体の乾式化等）を実施します。

4 小学校普通教室の暑さ対策

小学校普通教室の熱中症対策として、平成28年度も引き続き21小学校の普通教室（275室）にドライ型ミストを設置します。これにより、ドライ型ミストの整備率は100%となります。

5 学校園の電力供給契約の見直し

平成28年4月の電力市場の完全自由化も見据え、学校園施設のランニングコストを節約するため、これまでの地域に固定された電力会社や新電力事業者も含めた競争入札による電力供給を進めていきます。

6 中学校給食の導入

中学校給食については、成長期における生徒の健全な心身の育成や食育の推進等の役割を果たし、学校教育の一環として重要な事業であることから、実施に向けた課題整理を早期に行い、本市においてもっとも適切な中学校給食の導入に向けた準備を進めてまいります。

学校給食の更なる充実と中学校における食育の推進を図り、子どもを豊かに育む教育環境の向上を目指します。